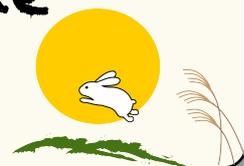




Les Amis de L'Orgue de Tokorozawa MUSE



皆様、良い夏を過ごされましたか？所沢ミュージズの改修のピックアップニュースも耳新しいこの頃ですね。
平成30年の12月10日から長期大規模改修となります。再開予定はなんと平成32年=2020年の東京
オリンピックの年。ずっとずっと先の事と思っていましたが、このままではあつという間ですね。

🍏 9月23日(土) & 24日(日) 空飛ぶ音楽祭 SORA FES へGO 🍏

9月23・24日には【空飛ぶ音楽祭】が開催されます。音楽のあるまちづくりを
モットーに、所沢の魅力を市内外に発信するべく始まったこの音楽祭。所沢ミュ
ーズはもちろん、お隣の航空公園でも沢山のコンサートやイベントが開催されます。
クラシック以外にも野外ステージでの様々なジャンルのコンサート、屋台やアトラクションなど盛
り沢山の二日間が楽しめるようです。その中で、ミュージズのパイプオルガンも大活躍しますので、
お薦め公演を二つご紹介しましょう♪



●“お昼どき”500円オルガンコンサート→2017年9月23日(土)



演奏者は石丸由佳さん！若手の中でもその実力と幅広いレパートリ
ーによる演奏は定評があります。フランスの権威あるシャルトル国際
オルガンコンクール of the 覇者。まるでモデルのようなスタイルと美貌を
持ち、鮮やかに豪快に、そのオルガンの良さを引き出すべく全身全霊
をこめて演奏される姿が私は大好きです。今回は午前中の子供のため
のコンサートで、お得意のスターウォーズメドレーを披露されるとの
こと！昨年の6月に所沢ミュージズのオルガンが故障してしまい延期の
運びとなった石丸さんの500円コンサートがようやく実現します。

みなさま、どうぞお誘い合わせのうえお越し下さい♪



第一回目(0歳からのお子様向けプログラム): 11時開演

第二回目(大人向けのプログラム): 14時30分開演



●日本大学芸術学部管弦楽団によるコンサート→2017年9月24日(日)

その翌日にはオーケストラの中でオルガンが活躍します。『オルガン付き』の愛称で知られるサン
＝サーンスの「交響曲第3番」が、所沢ミュージズの近くに校舎を構える
日本大学芸術学部の管弦楽団によって演奏されます。指揮は今泉久さん、
そしてオルガンは私の尊敬する先輩・高橋博子さん。高橋さんは以前
所沢ミュージズのオルガンスクールで講師をされていたことあるので、
ミュージズにもゆかりのあるオルガニストなのです。この他にも、あまり
聴く事の出来ないロシアの作曲家グリムカのオペラ序曲や、モーツァルト
の世にも美しいフルートとハープのための協奏曲八長調も演奏されま
す。オーケストラとオルガンの響きを、ぜひお楽しみに♪

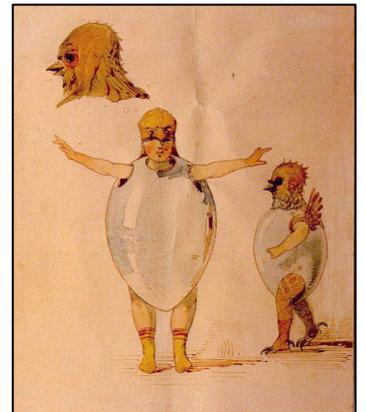


🍏 10月14日(土) 廣江理枝オルガンリサイタル 🍏



バッハの素晴らしいオルガン作品とムソルグスキーの傑作「展覧会の絵」を一度に聴ける。こんなに豪華なオルガンコンサートがあるでしょうか。日本が世界に誇る逸材**廣江理枝**氏はシャトル国際コンクールで日本人初優勝を果たすほか、様々なコンクールを制し、その後も長きに渡ってドイツを中心にヨーロッパで演奏活動を行ってきた実力者です。10年程前に日本に帰国され、東京藝術大学オルガン科の主任として日本のオルガン界を牽引する存在。海外の国際コンクールの審査員として招かれるなど、教育者としても世界にその名を轟かせている廣江氏が、所沢ミューズでしか味わえない組み合わせでこの秋に初登場します！

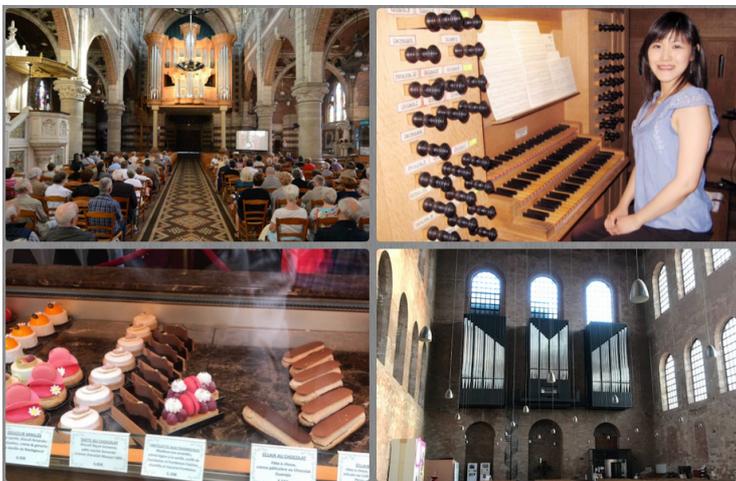
長年のドイツ生活から紡がれる**バッハの調べ**はもちろん、今回の注目はムソルグスキーがピアノの為に書いた組曲「**展覧会の絵**」のオルガン版でしょう。作曲家の生前には一度も演奏されなかったこの作品は、後世にラヴェルらによってオーケストラ編曲がなされ、広く親しまれています。聴き易いメロディとまるで映画をみているようなドラマチックな展開のこの作品は、友人の画家ヴィクトル・ハルトマンの遺作展覧会で見た10枚の絵(写真右)に発想を得て書かれました。聴くのは心地よいですが、演奏には相当なリズム感と超絶技巧を要する大作なのです。オルガンの魔術師のような廣江氏が、ピアノ科出身ならではの鮮やかな技術と、遊び心・歌心溢れる感性でオルガンを自由自在に操ります。フランスのオルガニストであるジャン・ギュー氏によるオルガン編曲版を使って、アークホールいっぱい壮大な絵画を彩り、響かせてくれるに違いありません。



10月14日はアークホールにて、心よりお待ちしております！



🍏 おまけ 🍏 2017年夏のヨーロッパ紀行～フランス・ドイツ編～



今年も8月はヨーロッパに演奏旅行に行ってきました。日本も冷夏でしたが、ヨーロッパはさらに寒く…既に秋の薫りがしました。パリを数日満喫した後、北フランスの**ベテューヌ Bêthune** という街でコンサート。ここには北ドイツ様式の美しいオルガンがあり(写真上段)、留学時代から『オルガン大使』を務めていて、とても思い入れのある楽器です。その後、美味しいケーキに舌鼓をうちつつ(写真左下)、ドイツを流れるモーゼル川の畔にある**トリーア**

Trier のコンスタンチン・バジリカにある巨大現代オルガンでのコンサート(写真右下)。夜中4時までリハーサルをして翌夜の演奏会という過酷なスケジュールでしたが、お客様がみな立って拍手を送って下さり、ローマ時代の面影を残す美しい街で素晴らしい音楽の時を持つことができました。